＜司会＞

皆さま、おはようございます。

本日はお集まりいただき、ありがとうございます。

ただいまより品川区長定例記者会見を始めさせていただきます。

初めに森澤区長より、区民アンケートなど、今後、実施予定の事業についてご説明をいたします。

そのあとに、皆さまからのご質問をお受けいたします。

終了は10時40分を予定しておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは区長お願いいたします。

＜区長＞

おはようございます。

本日は、大変暑い中、そしてお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

品川区長の森澤恭子です。

それでは、座ってお話をさせていただきます。

まず、昨日の品川区議会第2回定例会におきまして、令和5年度一般会計補正予算案、そのほか、事業執行に関する条例等について、すべての議案の議決をいただきましたことをご報告いたします。

引き続き、経済情勢や区民ニーズを踏まえた予算の編成および執行に努めてまいります。

さて、本日は、区民アンケートなど、今後、実施予定の事業についてご説明をさせていただきます。

最初に、区民アンケートについてお話をさせていただきます。

区長選挙の公約としても掲げさせていただいておりましたが、誰もが生きがいを感じ、自分らしく暮らしていける「区民とともに進める新時代のしながわ」を推進すべく、羽田新飛行ルートへの影響も含め、多様化する区民の価値観やニーズなどを把握し、今後の区政運営に反映していくため、区民アンケートを実施いたします。

対象は、中学生を除く15歳以上の全区民、約36万人になります。

アンケートは、全世帯に郵送で送付をいたします。

世帯主宛の送付状に、対象者全員分のインターネット回答用のIDとパスワードが記載されておりまして、インターネットによる回答を希望する方は、ご自身のIDとパスワードにより専用サイトからご回答いただく形になります。

ご回答はお一人につき1回。郵送、もしくはインターネットのどちらかとなります。

なお、区立小・中学校、義務教育学校の児童・生徒については、別途、行う予定で準備をしております。

アンケートの内容ですけれども、自分らしく幸せに暮らしていくために重要だと考えていること、羽田空港の新飛行ルートについての影響や感じている負担、区政への参画、つながり方、区政に対するご意見など、計10問となっております。

調査期間は8月1日から31日まで、集計結果の公表は12月ごろを予定しております。

アンケート実施のポイントですけれども、ウェルビーイングの視点から、「誰もが生きがいを感じ、自分らしく暮らしていける品川」の実現に向け、区民の幸福実感度等を調査し、今後の区政運営や新たな施策展開に反映させていきたいと考えております。

また、羽田新飛行ルートにつきましては、具体的な影響や負担感などを調査し、国に具体的な解決策を働きかけていきたいと考えております。

続きまして、おむつサブスクリプションの本格導入についてお伝えをいたします。

現在、区立保育園7園でテスト導入しているおむつサブスクリプションについて、新たに区立保育園33園で導入し、合計40園で実施をいたします。

利用を希望する保護者の方が、運営事業者の方と直接、契約を結び、月額の料金を支払うことで、保育園に納品される紙おむつとおしりふきを、枚数の制限なく使用できます。今年の4月からテスト導入しておりますけれども、多い園では、0から2歳児で利用率80％を超えておりまして、好意的なご意見も、多数届いています。

そのため、今年の10月より実施園を7園から、区が直接運営をしている40園、全園に増やしてまいります。

日々おむつ等を保育園に持参する保護者の負担軽減を図り、子どもと向き合える時間を増やす、子どもの健やかな成長につなげていきたいと考えております。

続きまして、ボルダリング場のオープン記念イベントについてです。

東京2020大会で初めて採用されたアーバンスポーツ、いわゆる都市型スポーツは、海外ではすでにメジャーなスポーツと認知されていて、2024年のパリ大会でも実施される予定であります。

必要な用具等が少なく、初心者でも気軽に楽しめる競技であるボルダリング場を、今年の4月に、区役所の目の前にあります、しながわ中央公園にオープンをいたしました。

今回、東京2020大会でスポーツクライミング銅メダリストの野口啓代さんをゲストに迎えて、ボルダリング場オープン記念イベントを7月23日に行います。

野口さんによる、デモンストレーションのほか、野口さんが講師を務める体験教室も実施いたします。

なお、有料エリアのホールド部分、つかむ部分ですね、今年度は3回ほど、ルート変更を行う予定でありまして、現在、1回目のルート変更工事のため、有料エリアを閉鎖しています。

今回のホールド設置工事では、オリンピアンの野口さんにご監修いただき、さまざまなコース設定を行う予定となっております。

また、今後は初心者教室を月1回程度開催することを予定しておりまして、子どもたちを中心に、新たなスポーツを気軽に楽しめる機会の創出を図ってまいります。

続きまして、こどもサッカー場のオープンについてご説明をいたします。

子どもが継続的にスポーツを楽しめる環境を充実させるため、区内初となる子ども専用のサッカー場を、勝島にありますしながわ区民公園内にオープンします。

しながわ区民公園は、経年劣化によるスポーツ施設などの老朽化対策や園路などのバリアフリー対応のため、大規模な改修を行っています。

改修にあたりまして、区民やスポーツ競技団体から多く要望があった、区内初のサッカー専用グラウンドを整備することになりました。

既設の公園内への設置、そして施設の大きさなどに制限があること、また、子どもサッカー場の要望があったことから、今回、子ども専用サッカー場として整備をいたしまして、小学生以下の団体が優先的に利用できる施設といたします。

抽選後の空き予約については、グラウンド・ゴルフ等の利用も可能とする予定であります。

貸出は8月1日からとなります。

最後に、自転車ヘルメットの助成についてです。

第1回臨時会でご承認をいただきました、自転車ヘルメット購入助成ですが、7月21日から申請の受け付けを開始いたします。

4月から、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となったこと、また、自転車が関わる交通事故が増加する中、転倒事故などによる頭部の負傷の軽減を図り、区民の生命を守るため実施する事業となります。

自転車損害賠償保険に加入されている区民の方が、令和5年4月1日以降に、2,000円以上の安全基準を満たした自転車ヘルメットを購入された際、申請をいただき、助成の決定後、区内共通商品券2,000円分を郵送いたします。

受付期間は7月21日から令和6年3月31日までとなっております。

事業のご説明について、私からは以上となります。

＜司会＞

それでは、質疑応答に入ります。

恐れ入りますが、ご質問は1回につき1項目、ご質問内容をまとめて簡潔にお願いできればと存じます。

ご質問の際は所属とお名前をお願いいたします。

それではご質問のある方は挙手をお願いいたします。

＜質問者Ａ＞

区民アンケートなんですけど、羽田新ルートは10問のうちどれぐらいあるか。

＜区長＞

4問ですね。

＜質問者Ａ＞

4問ですね。

答える方がですね、ルートにかかるかどうかで、かなり影響というのは違うと思うんですけど。

＜区長＞

そうですね。

＜質問者Ａ＞

そうすると、全体の中で、被害を受けているっていう答えが、割合にすると、非常に低くなる可能性もあると思うんですけど、その森澤さんの選挙戦で、アンケートに踏まえてですね、固定のラインを含む解決策をということを掲げてらっしゃったかと思うんですけど、どういうアンケート結果なら国に働きかける、どういう場合なら働きかける必要はないと、どのように考えてらっしゃるのか教えていただけますか。

＜区長＞

まず、前提としては、どういう結果が出たら働きかける、働きかけないではなくて、その結果をもって国に働きかけます。

で、エリア、皆さんのお住いの地域を聞きますので、そういったところとクロス集計をすることによって、どういった地域で、生活実感も含めて、影響とか負担感があるのかということが、それによって、浮かび上がるのではないかと思っておりますので。また、自由回答欄を設けますので、そういったところも含めてすべて、何割とかということではなくて、こういった区民の声があるということをしっかり届けたいと思っています。

＜司会＞

そのほかございますでしょうか。

＜質問者Ｂ＞

先ほどの羽田空港の新ルートのアンケートの関連ですが、4問ということだったんですけれども、具体的にもう、その質問項目が決まっていたらお伺いしたいのと、あと、実際、区の方で、騒音に関してはどういった測定をされているのか、その結果については今どういう結果が出ているのかということをお伺いしたいのと、あと、このアンケートの集計、12月ということだったんですが、国に働きかけるとおっしゃいましたが、住んでいる地域と結果についてもクロス集計されるということだったんですが、もう少し、例えば、具体的にその、集計方法とか、実効性のあるアンケートにされようと思っていると思うので、何かこう、こういう形で集計したいというのがあればもう少し具体的に教えてください。

＜区長＞

はい。羽田新飛行ルートに関しましては、どの程度、その影響を受けているかということであるとか、どういった面で影響を受けているかっていうところを選択で、騒音とか振動とか、そういったところも含めてお伺いする形。あと、その他というのもありますので、もしそこに該当しないと感じられる方はそういったところにご記入いただけるのかなと思っています。

また、自由回答でもご意見をいただくという形になっています。

で、騒音についてですけれども、国交省も、区内で測定をしていますけれども、区としましても、令和2年4月1日新飛行ルートがスタートしてから、台場小学校、立会小学校の2カ所で、騒音の測定をしておりまして、その結果というのは随時ホームページで公表をさせていただいております。

現在、現時点、その騒音測定値というのは、令和2年、3年度ともに、環境基準に適合しているという形にはなっておりますけれども、やはり、今回、アンケートで、生活実感、実際、区民の方がどう感じられているのかということを具体的にお伺いすることによって、より区民の方がどのように困られているか、そういったことも含めて、国に具体的な形でお示ししたいと思っております。

集計方法は基本的にはやはりエリア等、そういったものでクロス集計等をすることを今考えております。

＜司会＞

そのほかございますでしょうか。

＜質問者Ａ＞

今お話があった騒音の独自の測定なんですけど、最新のものを見てもですね品川区さんだと、今年3月が最新の調査結果としてしか出ていない。

一方で港区では、区独自の調査で小学校とか幼稚園に設置している、その測定計がですね、もう7月のものまで出てるんですね。

そういった対応の違いというのは、政策の遅れではないんでしょうか。

＜区長＞

その具体的に、どういうふうに公表の基準をしているのかということは確認しますけれども、迅速に公表するようにしていきたいと思いますし、あと、令和4年度の集計についても、現在集計中と、年間のですね、聞いておりますので、調査でき次第、公表するという形で進めていきたいと思っております。

＜質問者Ａ＞

その、港区とかは、測ったその値を、もう、ほぼ何日後かに出しているんですね。それが、なんで、取りまとめっていう感じになるのか、ちょっとよくわからないんですけど。

＜区長＞

わかりました。

港区さんと、どういうやり方も含めて、違うのかも含めて、担当の方にしっかり伝えたいと思います。迅速に公表するように、伝えていきたいと、進めていきたいと思います。

ありがとうございます。

＜司会＞

そのほかございますでしょうか。

＜質問者Ｂ＞

今回のその、さっきも会見の中でおっしゃっていたんですけれども、この区民アンケートのねらいで特に公約でも挙げられた、その、羽田新ルートの項目を入れたっていうところの狙いを改めてお伺いしたんですけれども。

＜区長＞

そうですね。これは区長選挙でも、お約束をさせていただきましたけれども、やはり羽田新飛行ルート、区民の方が騒音、そういったものについて影響があるという形がありますので、実際に、もちろん今までも区民の方から、さまざまお声はいただいているんですけれども、具体的にやはり地域ですとか、そういったところで、感じ方、影響というのも違うと思いますので、そういったことをしっかりと把握した上で、そして国の方に、具体的な解決策を働きかけていく。そういった趣旨で、今回、区民アンケートという形で行うという。目的としては、そういった形になります。

＜質問者Ｃ＞

ちょっと今日の内容でなくて恐縮なんですが、前回の会見でですね、教育委員会の教育委員を募集するということで明日が締め切りなんであろうと思うんですが、今の段階でどのぐらい募集が来ているのか、結構きているのか、それとも、実は全然来てませんでしたとかですね。何かちょっと、今の段階でわかれば教えてください。

＜区長＞

はい。

一定、応募が来ていると理解しております。

＜質問者Ｃ＞

ちょっとそのことを踏まえて、そんだけ来ているっていうことのご感想ってのは、今の段階でどうでしょうか、ちょっと教えてください。

＜区長＞

そうですね。やはり保護者の方の意見や視点というのを、品川区の教育に反映させるということは、重要だと思っておりますので、そうやって関心を持っていただいて、そしてやってみようと思ってくださる方がいるということは本当にありがたいと思いますし、そういった方とともに、保護者の方の意見等、多様な意見等をしっかりと反映させながら、開かれた教育行政、そういったものを行っていきたいなと思います。

＜司会＞

そのほかございますでしょうか。

＜質問者Ａ＞

自治体でもですね、チャットGPTをですね、導入するところが増えているようなんですけど、この今回区議会でもご質問あったと思います。品川区としてそのあたり検討ってどういう状況なのかというところをお教えいただければ。

＜区長＞

今、現状としては、担当、情報推進課になりますけれども、どういった形で活用ができるのかということを、他自治体の事例も研究しながら、今、検討しているというような状況ではあります。

＜司会＞

そのほかございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、これにて、区長記者会見を終了いたします。

ご参加ありがとうございました。

＜区長＞

ありがとうございました。

次回は、9月を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

ありがとうございます。